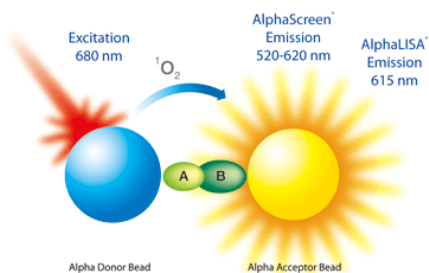


第16回 学術支援センター(ADRES) 病態機能解析セミナーの御案内 AlphaScreenテクニカルセミナー

日時：平成29年7月13日(木) 17:00~18:00
場所：ADRES 病態機能解析部門 1階 多目的ルーム
講師：PROS プロテオ創薬科学部門 竹田 浩之 准教授
株式会社パーキンエルマージャパン 学術担当者



- ・たった数時間のアッセイ
- ・たった5 μ lのサンプル使用量
- ・広いダイナミックレンジ
- ・優れたコストパフォーマンス
- ・低親和性の結合も検出可能



この度、パーキンエルマー社マルチプレートリーダー EnSpireが本学プロテオサイエンスセンター (PROS)より当部門に移設されました。PROS プロテオ創薬科学部門の竹田先生より本機を用いた創薬研究の実施例を、パーキンエルマー社の学術担当者より本機を用いたアプリケーション例等をご紹介します。ご興味のある方は是非ご参加ください。

【内容】

Alpha (Amplified : 増幅、 Luminescence : 発光、 Proximity : 近接、 Homogeneous : ホモジニアス、 Assay : アッセイ) テクノロジーは、ビーズベースの高感度な Non-RI ホモジニアス (Mix & Measure) アッセイテクノロジーです。Alpha テクノロジーでは、多様な生物学的な分子間の相互作用を、迅速、かつ洗浄操作なしに検出することができます。

～AlphaScreenと無細胞技術で開く創薬研究～

AlphaScreenは創薬開発に適した非常に強力なスクリーニング技術です。PROSでは無細胞技術とAlphaScreenを組み合わせた創薬技術開発を推進しています。開発した創薬技術は、PROS、またはADRES応用タンパク質研究部門において、技術支援や受託研究といった形で内外の研究者に対して提供しています。本発表では、プロテインアレイを用いた創薬標的タンパク質やバイオマーカー探索、薬剤探索など、AlphaScreenを用いた創薬研究の実施例を紹介します。

～アプリケーションのご紹介～

- ・ Alphaテクノロジー
- ・ 混ぜるだけELISA
- ・ 混ぜるだけウェスタン (リン酸化タンパクの検出)
- ・ GPCRファンクショナルアッセイ
- ・ 分子間相互作用アッセイ (Protein-Protein Interaction)

【アプリケーション例】

- ・ サイトカイン等のバイオマーカー検出
 - ・ PD1/PDL1バインディング
 - ・ 分子間相互作用
 - ・ リン酸化タンパク質検出
 - ・ レポータージーン
 - ・ 細胞増殖
- 等

本セミナー担当者の連絡先 : 学術支援センター 技術職員 堀田 内線 : 5179
病態機能解析セミナーに関する問合せ先 : 学術支援センター 専任教員 亀田 内線 : 5459 PHS: 9855